



2027（令和 9 年度）

入 試 要 綱

工業専門課程 自動車科 2 級整備士コース

（昼間・修業年限 2 年）

国土交通大臣指定 自動車整備士一種養成施設

学校法人創匠学園

専門学校モビリティアカデミー東北

1. 募集学科・募集定員

課程	学科・コース	修業年限	入学定員	昼夜の別
工業専門課程	自動車科 2級整備士コース	2年	35名	昼

卒業時：二級自動車整備士（総合）受験資格（実技試験免除）／専門士（工業専門課程）の称号を授与

※ 募集定員に達し次第、以降の期の募集を締め切ります。

2. 受験資格

次の各号のいずれかに該当する方が出願できます（本校学則第7条による）。

- ① 高等学校を卒業した者（令和9年3月卒業見込みの方を含む）
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- ③ 外国の正規の学校教育において12年間の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在学教育施設の当該課程を修了した者
- ⑤ 文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ その他、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 推薦による入学試験は、上記に加えて各試験区分の要件（推薦・評定平均等）を満たす必要があります。

3. 入学試験の種類と選考方法

本校の入学試験は、次の3つに分かれています。

1) 一般入学試験 2) 推薦入学試験（指定校推薦・公募制推薦・企業・団体推薦） 3) 学業特待
選抜試験

■ 1) 一般入学試験（実施期：第1期～第7期）

どなたでも出願できる入試です。高等学校を卒業した方・卒業見込みの方のほか、高等学校卒業程度認定試験の合格者など同等以上の学力を有する方が対象です。選考は書類審査・小論文・面接で行います。学力よりも、整備士を目指す意欲と適性を重視した選考です。

■ 2) 推薦入学試験

高等学校または企業・団体の推薦を受けて出願する入試です。推薦の種類は次の3つで、いずれも選考は書類審査・小論文・面接で行います。

① 指定校推薦（実施期：第1期～第3期）

本校が指定した高等学校の生徒を対象といたします。出願には在籍校の校内選考を経る必要があります。指定校には本校から推薦枠等の詳細をご案内していますので、推薦枠の有無や人数、手続きについては、在籍する高等学校の進路指導室などでご確認ください。指定校推薦特待として、入学金の全額免除・半額免除・25%免除のいずれかの対象となります。全額免除は10名、半額免除は10名の定員があり、全額免除の対象となる出願が10名を超えた場合は半額免除または25%免除に、半額免除の対象とな

る出願が10名を超えた場合は25%免除に、それぞれ一つ下の区分で適用されることがあります（面接を含む選考の結果によります。詳細は「7. 特待制度」をご覧ください）。なお、全額免除又は半額免除の定員に達した場合でも、指定校推薦入学試験は継続して実施いたしますが、当該区分での特待適用は行いません（25%免除は適用対象となります）。お早めの出願をお勧めいたします。

② 公募制推薦（実施期：第1期～第3期）

在籍する高等学校の校長の推薦を受けて出願する入試です。指定校推薦の対象校以外の高等学校に在学の方が利用できます。評定平均値3.0以上で、本校を第一志望とし、合格後、本校への入学を強く希望する方が対象です。公募制推薦特待として入学金半額免除の対象となります（5名が定員です。定員を超える出願があった時点で、以降の期の公募制推薦入学試験は実施いたしません）。お早めの出願をお勧めいたします。

③ 企業・団体推薦（実施期：第1期～第7期）

企業・団体の推薦を受けて出願する入試です。勤務先や内定先など、つながりのある企業・団体からの推薦により受験できます。企業・団体推薦特待として、推薦を受けた合格者全員が入学金半額免除の対象となります。

■ 3）学業特待選抜試験（実施期：第1期・第2期）

授業料の免除を受けられる特待生の選抜試験です（全額免除2名・半額免除3名）。一般入学試験または推薦入学試験に出願する方が、あわせて受験する試験です（学業特待選抜試験のみを単独で受験することはできません）。追加の検定料はかかりません（入学検定料10,000円のみ）。

評定平均値3.5以上で、合格後、本校への入学を強く希望する方が出願できます。第1期・第2期の入学試験と同時に実施し、選考は書類審査・面接・筆記試験で行います。筆記試験の出題範囲は、国語は現代文のみ（古文・漢文は出題いたしません）、数学は数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Aです。選抜試験の結果、本校の定める基準以上の成績を修めた方のうち上位の方に、授業料の全額または半額免除が適用されます。免除の対象は授業料のみで、入学金・実験実習費・教育充実費・諸費用は納入が必要です。免除は2年間適用されますが、1年次の成績によっては、2年次の授業料免除が受けられない場合があります。なお、選抜試験で本校の定める基準以上の成績を修めたものの、採用人数の上限により授業料免除（全額・半額）の対象とならなかった方が入学する場合は、入学金を全額免除いたします。この入学金免除は、学業特待選抜試験を受験した方全員に適用されるものではなく、基準以上の成績を修めた方に限り適用されます。

※ 学業特待選抜は第1期・第2期に実施いたします。ただし、採用は全体で5名（全額免除2名・半額免除3名）を上限とし、第1期で上限に達した場合、第2期の学業特待選抜は実施いたしません。

■ 共通のご注意

※ すべての期ですべての入学試験が実施されるわけではありません。各入学試験の実施期は「4. 出願期間・入試日程」でご確認ください。

※ 特待制度は併用できません。減免額が最も大きいものが適用されます。

※ 各試験区分とも、募集人員・特待定員に達した場合は以降の期では実施いたしません。最新の実施状況は本校ホームページでご確認いただくか、出願前にお問い合わせください。

4. 出願期間・入試日程

	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期	第 6 期	第 7 期
出願期間 (最終日必着)	令和 8 年 9/14(月)～ 10/13(火)	令和 8 年 10/14(水)～ 11/10(火)	令和 8 年 11/11(水)～ 12/1(火)	令和 8 年 12/2(水)～ 令和 9 年 1/12(火)	令和 9 年 1/13(水)～ 2/9(火)	令和 9 年 2/10(水)～ 3/2(火)	令和 9 年 3/3(水)～ 3/15(月)
選考日	10/17(土)	11/14(土)	12/5(土)	1/16(土)	2/13(土)	3/6(土)	3/17(水)
一般入学試験	○	○	○	○	○	○	○
推薦（指定校）※2	○	○	○	—	—	—	—
推薦（公募制）※3	○	○	○	—	—	—	—
推薦（企業・団体）	○	○	○	○	○	○	○
学業特待選抜試験 ※1	○	○	—	—	—	—	—
合格発表	10/23(金)	11/20(金)	12/11(金)	1/22(金)	2/19(金)	3/12(金)	3/20(土)
入学手続期限	11/13(金)	12/11(金)	1/8(金)	2/12(金)	3/12(金)	3/26(金)	3/29(月)

※1 学業特待選抜は第 1 期・第 2 期に実施いたします。ただし、採用は全体で 5 名（全額免除 2 名・半額免除 3 名）を上限とし、第 1 期で上限に達した場合、第 2 期の学業特待選抜は実施いたしません。

※2 指定校推薦入学試験は、入学金全額免除（10 名）・半額免除（10 名）の定員に達した場合でも、継続して実施いたしますが、当該区分での特待適用は行いません。（25%免除は適用対象となります。）

※3 公募制推薦入学試験は、公募制推薦特待（入学金半額免除・5 名）の定員を超える出願があった時点で、以降の期は実施いたしません。

■ 試験当日のスケジュール・持ち物

受付	9:30～9:50
事前説明	10:00～
小論文・面接	10:15～ ※全区分とも小論文を実施のうえ、受験番号順に面接（1 人 10 分程度）を行います
学業特待選抜試験	受付 13:30～／筆記試験 14:00～15:00（国語〈現代文のみ〉・数学〈Ⅰ・Ⅱ・A〉）

当日の持ち物：受験票引換証・筆記用具

※ 体調不良等で当日受験できない場合は、あらかじめご連絡ください。日程を調整のうえ、別日に試験を実施いたします。

■ 合格発表・入学手続

- ・合格発表は、発表日に本校ホームページにて受験番号でお知らせいたします。
- ・合格者には、合格証書と入学手続に必要な書類（入学手続要項・学費納入方法等）を発送いたします。上記日程表の入学手続期限までに手続きを完了してください。期限内に手続きを完了しない場合は、入学を取り消すことがあります。

5. 出願書類・出願方法・検定料

■ 出願書類一覧

出願する試験区分の列に「○」の付いている書類が提出書類です。すべて揃えて出願してください。

提出書類	一般	推薦 (指定校)	推薦 (公募制)	推薦 (企業・団体)	学業特待 併願者
入学願書（写真貼付・払込証明書を裏面貼付）	○	○	○	○	○
調査書等（下記参照）	○	○	○	○	○
学校推薦書（本校指定様式）	—	○	○	—	—
企業・団体推薦書（本校指定様式）	—	—	—	○	—
志望動機レポート（本校指定用紙・800～1,000字）	—	○	○	○	—
学業特待選抜試験受験申込書 ※1	—	—	—	—	○
受験票交付申請書	○	○	○	○	○

※1 学業特待選抜試験を受験する方は、出願する試験区分の書類一式に「学業特待選抜試験受験申込書」を添えて提出してください（追加の検定料は不要です）。

■ 出願書類の詳細

・入学願書 — 本校指定の様式を使用してください。入学願書を含む各様式は、本校ホームページからダウンロードし、A4 普通紙に印刷してご使用ください。写真は「カラー・背景無地・正面上半身・脱帽・3 か月以内撮影（縦 4cm×横 3cm）」のものを貼付してください。

・調査書等 — 志願者の状況に応じていずれかを提出してください。

高等学校の卒業見込者：在籍校が発行する「調査書」

高等学校・大学・専門学校等の既卒業者：最終学歴の「卒業証明書」及び「成績証明書」

高等学校卒業程度認定試験合格者：「合格証明書（見込含む）」および「合格成績証明書」

大学の卒業見込者：「卒業見込証明書」及び「成績証明書」

※ 既卒者の方で、卒業後一定年数が経過し成績証明書が発行できない場合は、事前にお問い合わせ・ご相談ください。

・推薦書 — 本校指定様式（ホームページよりダウンロード可）

・志望動機レポート — 本校指定用紙（学校推薦用／企業・団体推薦用）2 枚に 800～1,000 字程度で記入してください。

・受験票交付申請書 — 本校指定様式。必要事項（連絡先メールアドレスを含む）を必ず記入してください。

■ 出願方法

「出願書類一覧」で確認した書類一式を封筒に入れ、出願期間内に簡易書留で郵送してください（最終日必着。窓口への持参による出願は受け付けていません）。

・入学検定料は下記口座への銀行振込（志願者本人名義・手数料自己負担）とし、払込証明書（コピー可）の裏面に受験者氏名を記入のうえ、入学願書裏面に貼付してください。ゆうちょ銀行の普通為替証書（氏名欄は空欄のまま）を同封する方法も利用できます。現金は同封しないでください。

・出願受理後、ご記入のメールアドレス宛に受験票引換証を送信いたします。選考日の 3 日前までに届かな

い場合は、本校へご連絡ください。試験当日、受験票引換証を受付にご提示ください。受験票をお渡しいたします。

■ 検定料

入学検定料：10,000 円（学業特待選抜試験を受験する場合も、追加の検定料はかかりません）

振込先：青森みちのく銀行 本店営業部（店番 101） 普通預金 3166790 学校法人 創匠学園

6. 学費納入金・諸費用

■ 学費納入金

区分	入学前	1 年前期	1 年後期	1 年次計	2 年前期	2 年後期	2 年次計
入学金	200,000 円	—	—	200,000 円	—	—	—
授業料	150,000 円	175,000 円	175,000 円	500,000 円	250,000 円	250,000 円	500,000 円
実験実習費	100,000 円	50,000 円	50,000 円	200,000 円	100,000 円	100,000 円	200,000 円
教育充実費	50,000 円	25,000 円	25,000 円	100,000 円	50,000 円	50,000 円	100,000 円
合 計	500,000 円	250,000 円	250,000 円	1,000,000 円	400,000 円	400,000 円	800,000 円

※ 金額は本校学則第 39 条の定めによります。納入方法・期日は合格通知に同封する入学手続書類にてご案内いたします。

■ 諸費用

費目	1 年次	2 年次	備考
学友会費	10,000 円	10,000 円	毎年（1・2 年次）
実習服・工具等 入学準備費	150,000 円	—	1 年次のみ（実習服・安全靴・帽子・工具一式）
教科書代	14,000 円	14,000 円	毎年（1・2 年次）※2 年次は国家試験対策教材を含む
健康診断費	7,200 円	7,200 円	定期健康診断費用（毎年 1・2 年次）
卒業関係費	—	25,000 円	2 年次のみ
年次計	181,200 円	56,200 円	
2 年間合計	237,400 円		

【任意参加行事】研修旅行費（希望者のみ）120,000 円 — 夏季または冬季休暇期間中に実施（1・2 年合同）。参加希望者のみ、実施年度に申込のうえ納入。

※ 記載の金額は、物価等の変動により変わる場合があります。

※ 国家試験の受験手数料は別途必要です。

※ 研修旅行の詳細は、参加者の募集時にお知らせいたします。

7. 特待制度

※ 本校の特待制度・減免制度（学業特待、指定校推薦特待、公募制推薦特待、企業・団体推薦特待、資格取得奨励制度）は、いずれか1つのみ適用されます。複数の制度に該当する場合は、減免額の最も大きい制度を適用いたします。

■ 学業特待

授業料の全額免除（2名）または半額免除（3名）

評定平均値 3.5 以上で、合格後、本校への入学を強く希望する方が出願できます。学業特待選抜試験（第1期・第2期に実施／書類審査・面接・筆記試験〈国語（現代文のみ）・数学Ⅰ・Ⅱ・A〉）の結果、本校の定める基準以上の成績を修めた方のうち、上位の方から採用いたします。免除の対象は授業料のみで、入学金・実験実習費・教育充実費・諸費用は納入が必要です。免除は2年間適用されます。ただし、1年次の学業成績等による審査により、2年次の授業料免除を行わない場合があります。なお、選抜試験で本校の定める基準以上の成績を修めたものの、採用人数の上限により授業料免除（全額・半額）の対象とならなかった方が入学する場合は、入学金を全額免除いたします。この入学金免除は、学業特待選抜試験を受験した方全員に適用されるものではなく、基準以上の成績を修めた方に限り適用されます。

■ 指定校推薦特待

入学金の全額免除（10名）・半額免除（10名）・25%免除（50,000円減額）

指定校推薦による免除の対象は入学金となります。

入学金の免除区分は、全額免除、半額免除及び25%免除（50,000円減額）とし、全額免除及び半額免除については、それぞれ10名を定員とします。25%免除については定員を設けません。

各入試期において、全額免除又は半額免除の対象となる出願者が複数いる場合は、面接、小論文等による選考を行い、その結果に基づき順位を決定したうえで、上位者から各免除区分の残枠の範囲内で適用します。全額免除の定員10名に達した場合、それ以降の入試期については全額免除の適用は行わず、半額免除又は25%免除の対象として選考します。

また、半額免除についても定員10名に達した場合、それ以降の入試期については25%免除のみの適用となります。

したがって、前の入試期までに全額免除又は半額免除の定員に達している場合、後の入試期では当該免除区分の適用を受けることはできません。

なお、25%免除については定員を設けていないため、全額免除及び半額免除の定員充足後も適用対象となります。

※授業料免除を希望される場合は、別途、学業特待選抜試験をお申し込みください。詳細は入試要綱をご確認ください。

■ 公募制推薦特待

入学金半額免除（100,000円減額）

学校推薦書の提出が必要です（指定校を除く）。半額免除は5名が定員です。定員を超える出願があった時点で、以降の期の公募制推薦入学試験は実施いたしません。定員を超える出願があった場合、定員超過分の合格者には入学金25%免除（50,000円減額）を適用いたします。前の入試期までに半額免除の定員に達している場合、後の入試期では半額免除の適用を受けることはできません。

なお、25%免除については定員を設けていないため、半額免除の定員充足後も適用対象となります。

※授業料免除を希望される場合は、別途、学業特待選抜試験をお申し込みください。詳細は入試要綱をご確認ください。

■ 企業・団体推薦特待

入学金半額免除（100,000 円減額）

企業・団体推薦書の提出が必要です。推薦を受けた合格者全員が対象です。

■ 資格取得奨励制度

授業料 250,000 円減免（2 年次前期授業料に充当）

入学後、1 年次の三級登録試験（3 月実施分まで）の合格者のうち、前期の学業成績を考慮し、上位 5 名以内に適用いたします。選考は 3 月実施分の試験結果の確定後に一括して行います。入学時に他の特待制度の適用を受けた方が対象となった場合は、差額を減免いたします（例：指定校全額免除 20 万円の適用者は差額 5 万円を減免）。

